

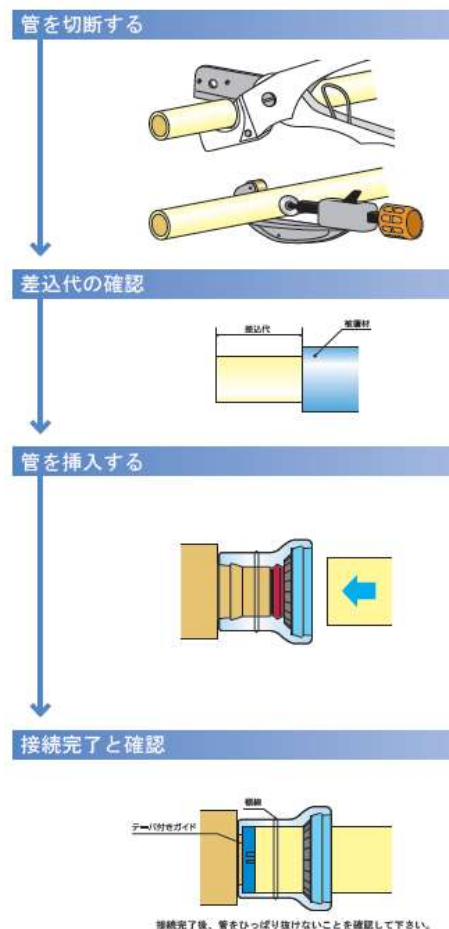
設備工事情報シート	衛 生	Ⅱ－P－27	制 定	2014年10月1日
			改 定	2019年3月1日
Ⅱ．メーカー情報	ポリブテン管、架橋ポリエチレン管 (さや管ヘッダー工法)		クボタケミックス編	

1. 目的・概要

住宅の給水および給湯配管に使用される樹脂管（ポリブテン管および架橋ポリエチレン管）の施工方法には、さや管ヘッダー工法および先分岐工法がある。その施工要領および使用部材はメーカーごとに異なるため、認識不足による不具合を防止するには、施工前に採用メーカーの接続方法を確認する必要がある。以下に、クボタシーアイ(株)／ポリブテン管、架橋ポリエチレン管／さや管ヘッダー工法の施工要領および施工のポイントを示す。

2. 施工要領およびポイント

- (1) ポリブテン、架橋ポリエチレンのどちらにも使用可能
(10Aと13Aについては、PB管、PEX管兼用で使用可能)
(16Aと20Aについてはそれぞれ専用で品揃え)
- (2) スピーディな施工
管を切断して差込むだけの簡単施工
インコアの挿入や面取り、マーキングが不要
- (3) 一目で分かる施工確認
パイプ挿入部には透明樹脂を使用。挿入状態を一目で確認
青色（赤色）のテーパ付きガイドが標線を超えて奥に当たれば施工完了
- (4) 管の外表面キズの影響を受けにくい内面シール
- (5) 軽量化
- (6) 施工要領



- 樹脂管用の回転カッターまたはポリブテン管用のカッターを使用し、直角に切断して下さい。斜め切断、段違い切断、偏平、断面のささくれ等に注意して下さい。

（はさみ式カッターを使用の場合、偏平しやすいためご注意ください。）

- 2mm以上の斜め、段違い切断は、水漏れ、挿入不良の原因となります。

- 被覆パイプは、被覆材を差込代以上めくって下さい。
- 管端面に発生したバリ、ヒゲ、ささくれ等は除去して下さい。

注意事項

差込代 (mm)

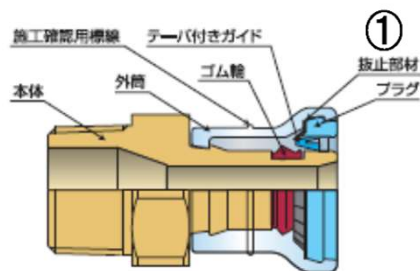
呼び径	10A	13A	16A	20A
差込代	18	20	22	24

- 継手内の異物付着や汚れ、差込部の管内面にゴミ等の付着があるものは、使用しないで下さい。
- 管を真っ直ぐに挿入して下さい。無理な斜め挿入はしないで下さい。
- 挿入は、途中で引き抜いたり戻したりすることなく速やかに行ってください。
- ためらい挿入はしないで下さい。

- テーパ付きガイドが移動し、標線を完全に超えると接続完了です。
(管の曲がりや、管の斜め切りにより、テーパ付きガイドが傾く場合がありますが、その場合も標線を完全に超えると接続完了です。)

資 料

(7) 管継手の機構（抜け止め対策）



ワンタッチ継手は、管継手に内蔵されたステンレス抜け出し防止部材が、管を差込むだけで引き抜きを阻止。（左図①参照）

3. 試験圧力

管種	圧力試験（準備）		圧力試験（本試験）		
	初期圧力 ※	時間	試験圧力	時間	判定
ポリブテン管	0.94～1.04MPa	10分間	0.74MPa	60分間	圧力0.64MPa以上
架橋ポリエチレン管	0.75MPa	5分間	0.75MPa	60分間	圧力0.55MPa以上

※ポリブテン管は、初期圧力まで昇圧して放置し、10分後に試験圧力まで降圧する。

架橋ポリエチレン管は、昇圧を繰り返し、5分間初期圧力を保持する。

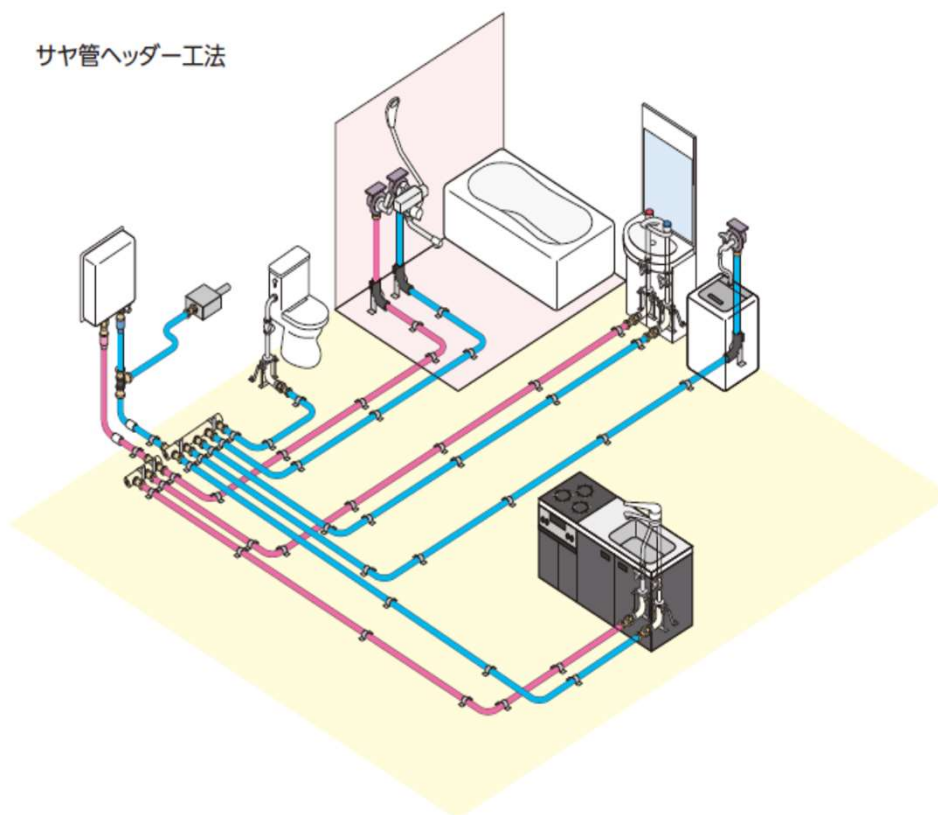
4. 講習会の開催について

顧客要望により、着手前講習（製品説明、施工実演・実習）、着手後講習（施工指導）を実施する。

5. 構成部品

架橋ポリエチレン管によるさや管ヘッダー工法の構成部材（給水系統）の一例を示す。

サヤ管ヘッダー工法



MB

- ・おねじソケット

給湯設備

- ・おねじソケット
- ・ユニオンソケット

台所

- ・給水栓ソケット/BOX

浴室

- ・給水栓エルボ/BOX

洗面所

- ・給水栓ソケット/BOX

洗濯

- ・給水栓エルボ/BOX

トイレ

- ・給水栓ソケット/BOX

6. 連絡・問合せ先

(株) クボタケミックス 東日本支社 営業第一課 TEL (03) 5695-3349

西日本支社 営業第一課 TEL (06) 6648-2265